

## 情報公開文書

研究の名称	乳がん術後の上肢機能調査
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 リハビリテーション部 部長 服部憲明
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2029年9月までに当院乳腺外科にて乳房切除または乳房再建術を施行され、術前後でリハビリテーションの介入が可能であり尚且つ術後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月時点で評価可能であった患者さんです。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 当院にて乳がん手術後にリハビリテーション介入を実施した患者さんの術後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月における上肢機能、QOLを術前と比較することで、現状のプロトコルの有効性を検証します。</p> <p><b>【研究の方法】 後ろ向き観察研究</b> 術後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月に評価が可能であった患者さんを対象とします。評価項目として肩関節屈曲、外転、水平屈曲、水平伸展、外旋の自動関節可動域(ROM)、体幹機能評価(FACT)、質問紙で患者立脚型評価(DASH、Shoulder36)、健康関連QOL(EQ-5D-5L)を術前と比較検討します。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2029年3月31日</p> <p><b>【利益相反の状況】</b> なし</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会、学術誌での公表</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	試料の採取は行いません。研究に用いる情報は電子カルテから以下の情報を、個人が特定できない形で抽出します(臨床型、年齢、性別、術後日数、関節可動域、術側上肢機能(DASH、Shoulder36)、健康関連QOL(EQ-5D-5L)、リハビリテーション治療内容等)。他機関への情報提供は行いません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究代表機関における研究責任者の所属・氏名)	富山大学附属病院 リハビリテーション部 部長 服部憲明
研究対象者等(研究対象者および親族等関係)	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

者)からの相談等への 対応窓口	電話：076-434-7850 FAX：076-434-5085 E-mail：rehab@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院 リハビリテーション部 副療法士長 永原詩乃
--------------------	--